

TOYOTA **L&F**

トヨタL&F中部株式会社

2022 CSR報告書

トヨタL&F中部株式会社



お問い合わせ先

トヨタL&F中部株式会社
〒466-8502 名古屋市昭和区高辻町6-8 TEL:052-882-6471

レポートの内容はトヨタL&F中部のウェブサイトにも掲載されています。
<http://www.toyota-lf-chubu.co.jp>



再生可能な植物由来油、およびリサイクルした再生油を原料とした植物油インキを使用しています。



トヨタL&F中部 基本方針

誇りを胸に 至誠ある行動で 総合力を発揮する

1. 一人ひとりが自ら考え、熱意を持って行動する
2. 常にお客様の懐に飛び込み、共感・信頼される企業をめざす
3. よき企業市民として企業の社会的責任を果たす

社長メッセージ

お客様の声を的確に捉えることを大切に

新型コロナウイルス感染症による余波がまだまだ続く中、トヨタL&F中部では社長交代の折りを迎え、新たな体制で歩み始めました。

私は1975年に入社して以降、サービス、営業、本部系営業と、多くの部署を経験。お客様のニーズやお困りごとを直接お聴きし、様々なことを学ばせていただきました。多くのお客様が今、世界で掲げられるSDGsへの取り組みを活性化しています。トヨタL&F中部も社会活動を行う中で、お客様のSDGs推進をお手伝いすると共に、当社内におけるSDGsへの取り組みも進め、持続可能な社会の形成を担っていきたいと考えております。

豊かな未来に向けて、クリーンな環境で社会に貢献

環境面においては、その他にも環境省策定の「エコアクション21」の認証を取得し、取り組みを進めています。直流給電システムやUF膜排水浄化装置など、環境配慮型設備を導入する他、各事業所はメーカー認定制度の「PRO-up活動」をはじめ保管庫や整備工場の効率化に取り組み、PDCAサイクルの定着を進め環境保全活動に繋げております。この取り組みは着実に成果を上げており、今後も継続して活動を続けていく所存です。

また、お客様に向けてはカーボンニュートラルのご提案準備を日々進めております。フォークリフトでいうならエンジン車からバッテリー車へ、鉛バッテリーからリチウムバッテリーへと迅速にご案内できるよう体制を整えております。白金オフィスではお客様に向けたカーボンニュートラル・SDGsに貢献する商品の展示コーナーを設置し、ご紹介しております。

10年先もお客様に選ばれる会社をめざして歩み続ける

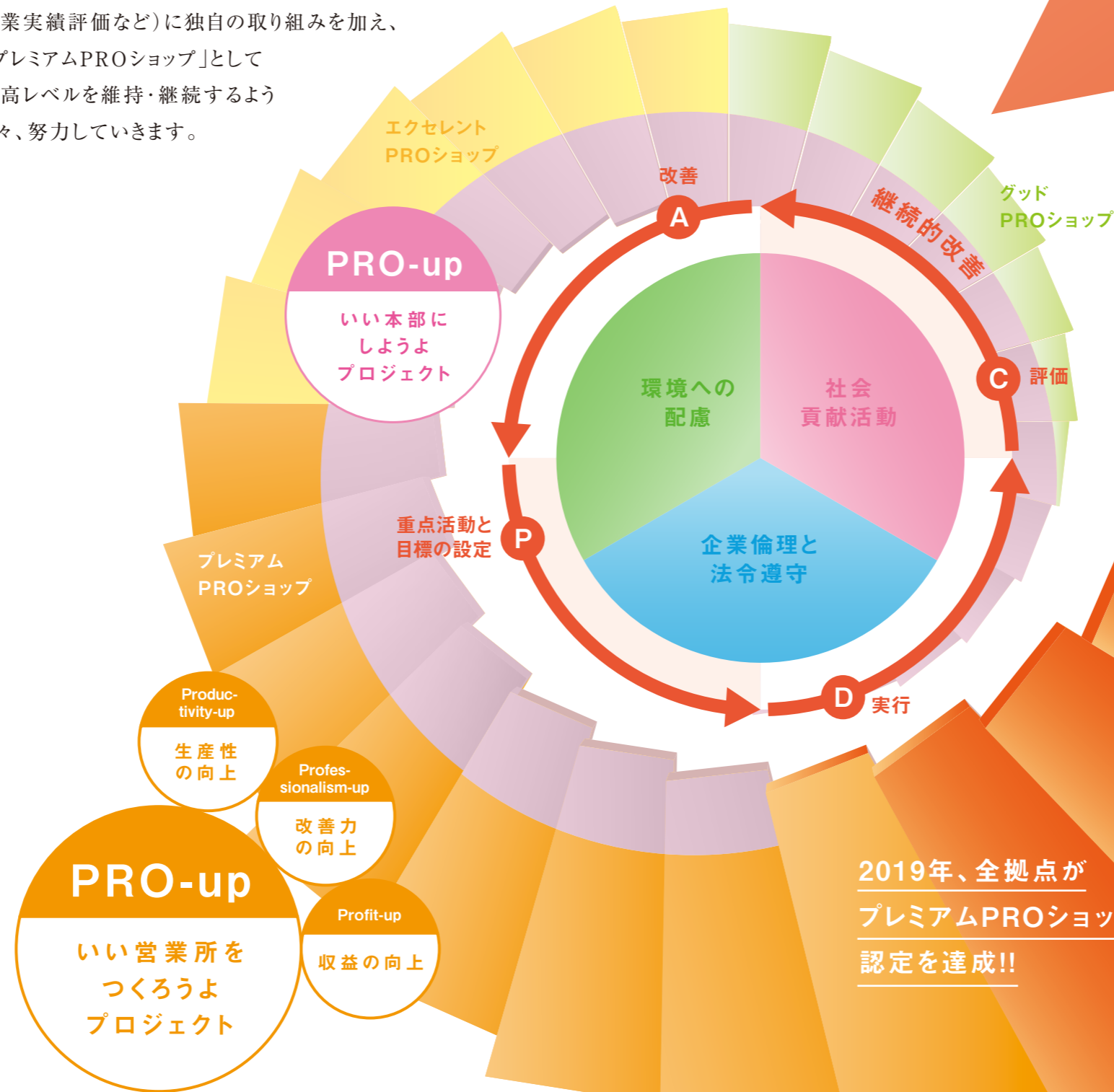
お客様の変化やご要望にお応えしていくためには、人、つまり社員の力を欠かすことはできません。10年先、15年先を見据えると、お客様に選ばれる会社であると同時に社会人及び学生にも選ばれること、社員の満足度を高めることも重要なミッションと考えます。人材育成などの働き方のプランニングをしっかりと立てると同時に、コンプライアンスの遵守、事故ゼロ、労災ゼロへの活動は永久に改善を継続してまいります。

トヨタL&F中部のビジョンである『凜とした会社にしよう』を進める上で着実に取り組みを続け、お客様の信頼にお答えできる高いサービスの維持に努める所存です。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますよう、お願い申し上げます。

取締役社長 **長谷 武**

いい営業所へ。そして、いい本部へ。 PRO-up 活動は次のステージへ。

現状の品質向上により、優れたプロを目指し、生産性や収益の向上を目指すPRO-up活動。
 私たちは、株式会社豊田自動織機トヨタL&Fカンパニー様の基準(安全衛生、環境、5S、販売サービス、コンプライアンス、営業実績評価など)に独自の取り組みを加え、「プレミアムPROショップ」として最高レベルを維持・継続するよう日々、努力していきます。



もっと上を目指し
2025年ビジョンへ

2019年、全拠点が
プレミアムPROショップ
認定を達成!!

トヨタL&F中部株式会社 2022 CSR報告書

TOYOTA L&F CHUBU 2022 CSR REPORT

目次

- 社長メッセージ ————— 1
- トヨタL&F中部のご紹介
活動は次のステージへ ----- 3
白金オフィス紹介 ----- 5
カーボンニュートラルに
貢献する商品紹介 ----- 7
- CSR活動の推進
CSR活動の主となる3本柱 ----- 9
- お客様と社員のために
大切にしたいこと ————— 11
お客様との関わりについて ----- 12
社員との関わりについて ----- 13
- よりよい地域づくりに
私たちができること ————— 15
地域社会との関わりについて ----- 16
- 環境へのやさしさで豊かな
自然を次の世代に ————— 19
環境・安全活動確認体制 ----- 20
当社の業務と環境保護と改善 ----- 21
緊急事態の予防と対策 ----- 22
環境に関する取り組み ----- 23
- トヨタL&F中部
環境保全・CSR活動のあゆみ — 25
- 拠点紹介 ————— 27
- 会社概要 ————— 28

白金オフィス紹介

様々な工夫を凝らし、お客さまに見て・触って・実感していただけるショールームやKY道場、整備の様子を見ていただくための見学通路など、魅せるオフィスです。



工場の作業ストール



作業ストールの見学も可能

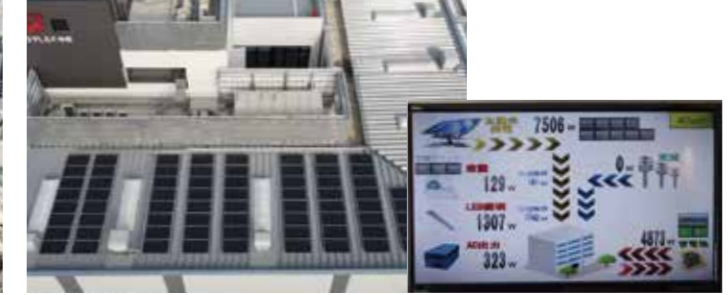


見学通路(2F)

BCPも考慮された拠点



屋上が200名収容できる避難場所に



直流給電システムで災害時の自家発電可能

非接触型の空中投影式ディスプレイ



新型コロナウイルスにも配慮した受付

VRドームシアター



VRを活用し実際の現場の再現が可能

災害用備蓄品を、万が一に備え分散して管理



倉庫



会議室座席下

KY道場



危険に気付く人材育成をコンセプトに階段の昇降から2S(整理・整頓)の在り方を展示

パネル展示



お客様見学ルートに当社のCSR活動をはじめとする様々な取り組みをパネルで紹介

カーボンニュートラルやSDGsに貢献する商品の紹介



カーボンニュートラルに 貢献する商品紹介 (CO₂排出量の削減)



より使いやすく。よりエコに。

最適な物流環境の構築をサポートする商品ラインアップの一部をご紹介します。

稼動時にCO₂排出ゼロ

電動フォークリフト geneB

エネルギー効率を追求し、断トツの稼動時間をさらに延長。世界初の充電機能をはじめとした最新技術によりバッテリーも長持ちさせます。



電動フォークリフト Ecore

コンパクトなボディと小回り性が、狭い場所での作業に最適。安定性も良く、様々なシーンで活躍します。



電動フォークリフト Rinova

抜群の旋回・荷役安定性で、確実な作業をサポートし、スムーズに発進、走行、制動。ストレスのない安心のオペレーションを実現しました。



電動フォークリフト Rinova AGF

無人・有人運転が思いのまま。異常時の復旧もその場の簡単な操作で行えるようになりました。



燃料電池フォークリフト

水素と酸素を使って作り出されたエネルギーは、使用する時にCO₂を一切排出しません。また、水素の充填は約3分と非稼動時間を大幅に低減できます。



鉛バッテリーと比較し充電効率が高く、
充電時のCO₂排出量を約20%削減可能

電動フォークリフトけん引車用リチウムイオンバッテリー ENELORE

トヨタ電動フォークリフトやけん引車に搭載することでリチウムイオンバッテリー仕様が可能。急速充電による長時間稼動が可能となり、補水や清掃などのメンテナンス作業も不要となります。



エアコンに比べて使用電力は少なくなり、
発電によるCO₂削減に貢献

ファン付ウェア 空調風神服

経済的でありながら、業界トップクラスの風量を誇ります。



電動化により稼動時にCO₂排出ゼロ

電動トーイングトラクター

エンジン車と同等のけん引能力、登坂能力を持った環境に優しい電動トーイングトラクターです。リチウムイオンバッテリー搭載も可能です。



全体空調と比較し、
必要なとき必要な場所だけ運転すれば
エネルギーの消費低減に貢献

デンソー スポットクーラー / デンソー 遠赤外線ヒーター INSPAC / ENSEKI



当社CSR活動の主となる3本柱

社会貢献



当社が過去から継続している各々の活動がSDGsに結びついています。



SDGsへの
関わり

カーボンニュートラルに貢献する活動

ソーラーパネルの導入



SDSリスクアセスメント実施

電子マニフェストの導入

排水浄化装置の導入



セーフティチェック

内部統制監査



反社会的勢力排除に関する基本方針

環境への配慮



環境省
エコアクション21

エコアクション21
への取り組み



PRO-up 活動

法令の順守

お客様と
社員のために
大切にしたいこと
(企業理念と法令順守)

適正・誠実な企業活動について

トヨタL&F中部では、法令や社内ルールを遵守し、適正で誠実な企業活動を行っていくことを通じて、お客様をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆さまに信頼される企業となることを目指しています。また社員の能力を最大限に引き出し、働きがいのある職場環境をつくることにより、当社の持続的成長に結び付けていきたいと考えています。

コンプライアンス
チェック



災害時の対応



働きやすい
職場づくりの推進



お客様との関わりについて

L&F中部の事業継続計画(BCP)への取り組み

防災の面だけではなく、企業として災害発生時に業務をすばやく再開する為、マニュアルを作成し、事業継続計画(BCP)に取り組んでいます。



事業継続計画(BCP)マニュアル

災害発生時でも、
素早くお客様への対応が
実施できる準備を進めています。



緊急時用の物資とAEDの常備

<全社配布>

- ・非常持出袋
- ・ヘルメット
- ・AED*
- ・長期保存可能な食糧と飲料水
- ・救助工具格納箱
- ・全社用災害備蓄品

*AEDマップに全拠点点登録(一般財団法人日本救急医療財団様とあいちAEDマップ)



個人毎に所属拠点で
管理しています。

緊急避難所を屋上に設置(豊橋営業所)

2017年1月にオープンした豊橋営業所はBCPの取り組みの一環として、災害時の緊急避難所を屋上に設置。また停電時での非常用電源も備わった営業所です。今後も、BCPにも考慮した拠点づくりをしていきます。



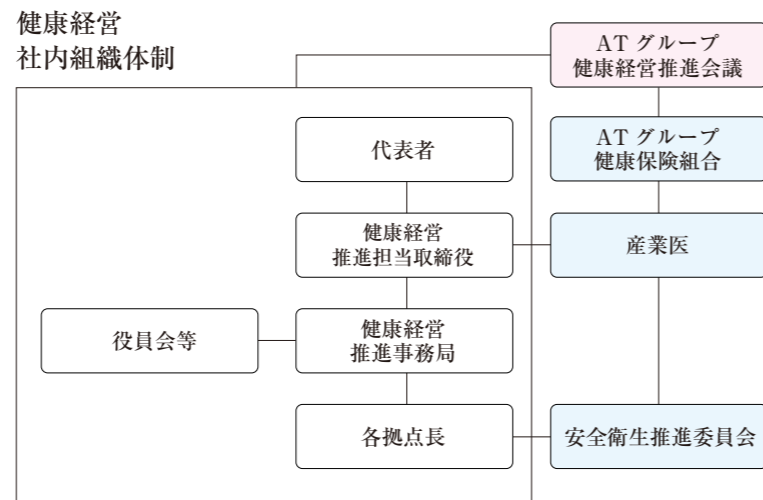
災害時に備えた活動と取り組み

防災訓練を行っており、2008年より新たに救命講習(AED講習)も取り入れました。心肺蘇生法(AEDの使用方法など)や、救急車が来るまでの数分間を繋ぐ手順の解説や、練習用の機材を使用した講習を行っています。2011年からは、災害対策マニュアルなど各種手順等をまとめた「地震災害対策マニュアル」及び「事業継続計画(BCP)マニュアル」を作成。携帯電話を利用した安否情報確認システムを新方式に変更し、迅速な安否確認を可能としました。想定される様々な被害に対し準備態勢を構築することで、当社の被害を防ぎお客様に向けての支援体制に備えています。



健康経営への取り組み

安全と健康を最優先する意識の醸成と、社員一人ひとりが能力を最大限発揮できる「健康的な職場環境づくり」を目指し、会社と健康保険組合が一体となって、社員とその家族の健康保持・増進に取り組んでいます。



働きやすい職場づくりの推進

業務での「ムダ」「ムリ」「ムラ」を無くす事や、社員のスキルアップにつながるツールの導入など、働きやすい職場づくりを目指して様々な活動に取り組んでいます。



オンライン会議

■ オンラインの有効活用

多数参加の会議や現場監査をオンラインを活用して実施し、ソーシャルディスタンスの確保、参加者の移動時間の短縮化が可能になりました。

■ リモートワークの活用

妊娠中の社員は、通勤時の危険回避を目的にリモートワークを推進しています。

■ 迅速な情報共有の推進

現場と本部との迅速な情報共有を目指し、オンラインでの動画活用を進めています。

重点取り組み事項

① 社員と家族の健康増進

健康診断受診の徹底／家族の健診受診推進／生活習慣病対策強化／ストレスチェックの全社員実施

② 健康的な職場環境づくり推進

職場コミュニケーション活性化／メンタルヘルス対策／禁煙促進・受動喫煙防止への取り組み／各種ヘルプラインの周知

③ ワーク・ライフ・バランス推進

働き方改革による業務効率化推進／労働時間適正化／社員への健康教育と理解促進

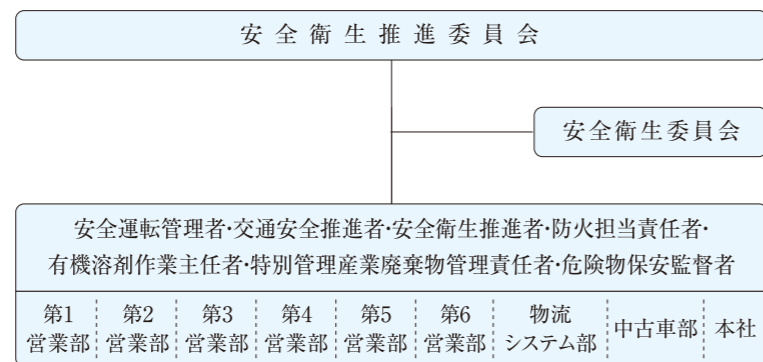
社内イベント「あるけあるけ大会」開催

社員一人一人の健康増進並びに家族や職場の友人とのコミュニケーションを図る社内イベントを年に1度、愛知・岐阜・三重 3県下のテーマパークにて実施しています。
※2020年以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



安全衛生委員会の実施

職場の安全確保のために、安全衛生推進組織を設けて、会議を実施しています。改善対策等、会議による決定事項については、全拠点の責任者に展開され推進していきます。安全衛生組織は本部だけではなく、各拠点毎でもつくり、会社全体でのリスクアセスメント対策に取り組んでいます。



社員への活動内容の周知(コミュニケーション)

当社のCSRに関する内容を2007年7月より月に1度、社内報の「CSRだより」として発行しています。日ごろ携わる業務や身の回りに潜むリスクについての特集など、社内周知ツールとして活用しています。



月1回発行
年12回通刊

よりよい
地域づくりに
私たちができること
(社会貢献活動)

地域社会との関わりについて

CSR推進部の発足当時は、寄贈活動が主な社会貢献活動でしたが、年を重ねる毎に、社員参加型の人的ボランティアなど活動を増やしてきました。また、2011年からは、社外のボランティア団体様と協力して行う活動も新しくスタートし、社内だけでなく、地域と連携協力した活動にも当社CSRとしての活動の幅を広げ続けています。

地域への貢献



福祉への支援



「海外たすけあい」 募金への参加



地域社会との関わりについて

■ 愛知・岐阜・三重3県に地域貢献活動を行う登録をしました。

愛知県：愛知県安全なまちづくり・交通安全パートナーシップ企業

岐阜県：岐阜県安全・安心まちづくりフレンドリー企業

三重県：個別申請(三重県警察本部様及び三重県庁様)

三重県では、愛知県・岐阜県のような企業登録制度がない為、三重県警察本部様及び三重県庁様に交通安全活動と並行して社会貢献活動を行うことを書面で申請しました。



■ 「安全・防犯パトロール」の活動

当社サービスカーに「安全・防犯パトロール協力中」のステッカーを貼付しています。近隣住民の皆様の「安全・防犯」に対する協力が目的です。愛知・岐阜・三重、県別でそれぞれのキャラクターを使用し、各県用に3種類のステッカーを作成しました。



■ 「こども110番の家」の活動

お子様が困った時に飛び込めるように、24拠点に「こども110番の家」の看板を設置しています。また、マニュアルも作成し、緊急時に適切な対応が取れる体制づくりをしています。



■ 地域交流

地域やお客様が主催されているイベントへの参加を行っており、交通安全活動では、街頭での交通安全立哨活動にも参加しています。地域住民の皆様と交流できる良い機会となっています。



■ 地域清掃活動(まちなかクリーンデー)

毎月決められた日に、本社も含めた全拠点の周辺区域の清掃活動を実施しています。



■ 車いす寄贈活動

当社販売エリアの愛知・岐阜・三重3県下の社会福祉施設様を対象に、車いす寄贈活動を行っています。これまで15年間の寄贈を経て、468の社会福祉施設様へ合計900台の車いすを寄贈しました。毎年、多くの施設様から感謝の書状をいただいています。

2021年度の
車いす寄贈式の様子



愛知



岐阜



三重

■ バザー用品寄贈活動（チャリティーバザー支援「1人一品貢献活動」）

全社員に対してボランティア活動への機会をつくり、社会貢献への意識を高める事を目的として行っている活動の一つです。集められたバザー用品は、愛知、岐阜、三重3県下の社会福祉協議会様を窓口として、社会福祉施設様へ寄贈しました。これらの品々は、バザー用品としてだけでなく、施設で不足している日用品や、レクリエーションの景品としても役立っています。

2021年度の
バザー用品寄贈の様子



愛知



岐阜



三重

社外ボランティア団体様と協力した活動も行っています。（車いすサポート活動）

車いす寄贈活動の次なるステップとして、2011年1月よりNPO法人アジア車いす交流センター様（通称WAFCA様）をサポートする活動をスタートさせました。寄贈活動だけでなく、車いすを維持する面でもお手伝いしたいと、車いす修理のボランティアを行っているWAFCA様の運搬業務を当社がサポートし、サービスエリア拡大のお手伝いをしています。



■ イベント参加でのボランティア活動

名古屋市・栄で開催される名古屋シティハンディマラソンに、2009年より毎年ボランティアスタッフとして参加し、受付やマラソンコースの交通整理などのお手伝いをしています。2020年以降は、新型コロナウイルスの為、イベントは中止となってしまいましたが、今後もイベント参加でのボランティア活動を継続していきたいと考えています。



■ 募金活動

毎年 年末に行われている「海外たすけあい」募金キャンペーンに社員一人ひとりが参加しています。寄せられた寄付金は、世界各地の紛争や自然災害、感染症などに苦しむ人々のために役立てられます。



環境へのやさしさを
豊かな自然を
次の世代に
(環境への配慮)

環境に関する取り組み

環境に関する基本理念 2001年12月1日に「トヨタL&F販売店環境ガイドライン」に基づき、環境問題への対応について積極的に取り組むことを宣言し、環境対応を経営の最重要課題のひとつとして活動してきました。企業活動を通じて住みよい地球と豊かな社会づくりに取り組むとともに、クリーンで安全な優れた品質及びサービスを提供し、人と環境に配慮して社会と共に発展する企業をめざします。

環境リスクを考慮
した社内環境改善
と取り組み



電力使用量削減対策
と節電設備の導入



産業廃棄物の管理の
徹底



環境・安全活動確認体制

日常点検

各種社内ルールや法令で定められた内容に沿って様々な点検を行っています。

<所内パトロール>

所内全体の異常の有無を巡回し確認をしています。

毎日の確認や、毎月行う安全衛生巡回で環境・安全のリスク管理を行っています。

<設備パトロール>

作業開始前点検を行い、油漏れによる環境リスクや、騒音による苦情等を未然に防ぐ様、確認をしています。毎日行う点検だけでなく、毎週、毎月ごとに行う巡回でより詳細な点検も実施しています。

<サービスカー>

運行前点検の他、社内ルールで定めているチェックシートに基づき、4Sの状況や搭載品に異常が無い点検を行い環境・安全リスクの低減に努めています。



環境活動確認

社内チェックだけでなく、社外のチェック体制も取り入れています。

<社内チェック>

■ 内部監査

社内にて監査員チームを編成して、定期的な活動項目のチェックをしています。問題が発生した場合は、書面にて対策内容を明確にし、改善を実施しています。



<社外チェック>

■ メーカーによる外部審査

メーカーである株式会社豊田自動織機トヨタL&Fカンパニー様の定めるチェックリストに基づき現場チェックを実施しています。



社内環境改善への取り組み

■ 環境法令に関する測定の実施

各拠点の工場から出る騒音や排水について法定基準の範囲内かを確認する為、定期的に測定をしています。



■ 環境リスクを考慮した設備の導入

環境リスクを低減及び、安全確保する為の設備を導入しています。

UF膜廃水処理装置

汚水の外部流出に対する安全確保を目的として導入
<油の除去>



地上廃油タンク

廃油地下漏洩に対するリスク軽減と目で見える管理が可能



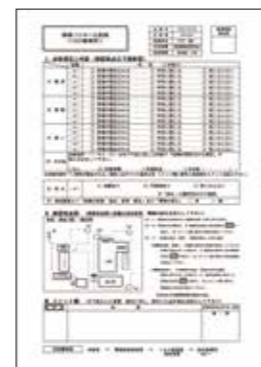
■ 当社で使用する化学物質の管理徹底

修理、点検で使用する油脂やスプレー等に含まれている全ての化学物質に対して、安全性、有害性等を総合評価と化学物質に対するリスクアセスメントをしています。社内で情報展開する際には電子データ化し、当社独自の電子掲示板に掲載している為、情報の早期検索と取り出しが可能です。情報管理を徹底する事で、緊急時での確実な対応によりお客様にご迷惑をかける事や、社員の安全性確保をより一層強化します。



■ 環境パトロールの実施

半年毎に苦情を考慮し、周辺への悪影響を洗い出す為、騒音・振動・臭い・排水などを全拠点で記録し、問題発生時の未然防止に役立っています。



環境パトロール記録

訓練計画を立てる



環境教育・訓練計画書兼実施報告書

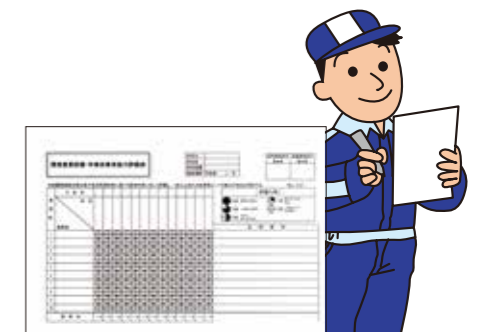
各拠点毎に年度初めに年間の環境教育・訓練計画を立て目標に従い活動を進めています。

訓練の実施



対象者を決め、迅速な対応が出来るよう計画に基づき訓練しています。

スタッフの対応チェック



環境重要設備・作業従事者能力評価表報告書

各拠点での訓練後、実施した社員別で緊急時における対応力量の評価記録を残しています。緊急時に備え、円滑に作業できるように、訓練を通し、力量の向上を図っています。

■ 緊急資材を全工場に常備・全サービスカーに搭載

油脂等の漏洩時には、「油脂類交換作業手順書」に基づき回収作業を行います。緊急時に備え工場用、サービスカー用の緊急資材を設置しています。取り扱い方法を記載した「緊急資材取扱い要領」は全工場内への掲示、サービスカーへの搭載を徹底しています。



緊急資材(サービスカー用)



緊急資材(工場用)

被害拡大を防ぐために

■ 油脂漏洩時の対策として緊急対応業者マップの作成

緊急事態発生時に、契約業者にどのように依頼するのかをマップ化し全社展開しています。地域によって、対応できる業者が異なるため一覧にしています。被害を最小限に抑えるため発生場所から、一番近くにある契約業者が明確になっている事で、被害拡大の防止につなげます。



油類漏洩に伴う緊急対応業者マップ

環境に関する取り組み

電力使用量低減対策の強化

政府からの節電要請に賛同して、2011年より省エネ対策として様々な活動を行い、2021年も引き続き5月から9月までの5ヶ月間は、クールビズを中心に活動しました。

- ・蛍光灯、工場灯の間引き(照度計で測定し基準範囲内で実施)
- ・クールビズ実施(エアコンの可能な限りの停止や室内温度28℃の管理徹底)
- ・その他節電できる箇所の見直し(広告照明灯OFF、自動販売機の節電設定等)

節電設備の導入

自然エネルギーを利用する設備



太陽光発電装置



ソーラー発電のLED照明灯

省エネ設備の導入



工場灯のLED化



事務所照明のLED化

産業廃棄物処理業者と廃棄物処理の適正

各拠点の工場内で排出された産業廃棄物について、できる限りリサイクルする体制を構築し、リサイクルできないものに関しては、産業廃棄物処理業者を通して、適正に処理しています。本社関連部署の同行訪問や、営業所単独の訪問により、現地での資格登録の再確認や処理方法など問題が無いかの適正を確認しています。

○リサイクル可能な産業廃棄物の処理の流れ



○リサイクル不可の産業廃棄物の適正処理の流れ



より多くの再利用、再資源化をめざす主な活動

●現場の分別徹底(現場廃棄物分別看板)



再資源化できる品目を増やしリサイクル向上へ

●産業廃棄物処理業者との契約書内容を100%管理(処理の流れ・許可期限)

- ・産業廃棄物の最終的な処理方法確認(リサイクルされているかの確認)
- ・法律での要求項目対応として、契約書情報をデータベース管理(許可期限切れの防止)

環境を考えた業務活動事例

■ バッテリーサービスセンターの業務活動

中古バッテリー製造販売、バッテリーリフレッシュサービスによる、バッテリーリユースを促進し、環境負荷削減に貢献しております。又、バッテリーをより長くご使用いただく為、お客様向けに正しい取扱いや、必要なメンテナンスについての講習会も実施しております。

● バッテリーリフレッシュ工程の例

① Before



② 洗浄工程とリフレッシュ工程



③ After【完成】



トヨタL&F中部 環境保全・CSR活動のあゆみ

2022年3月末現在



6月/岩手・宮城内陸地震と四川大地震への災害義援金を寄託



1月/名古屋市地域防災協力事業所に登録
2月/ハイチ大地震への災害義援金を寄託

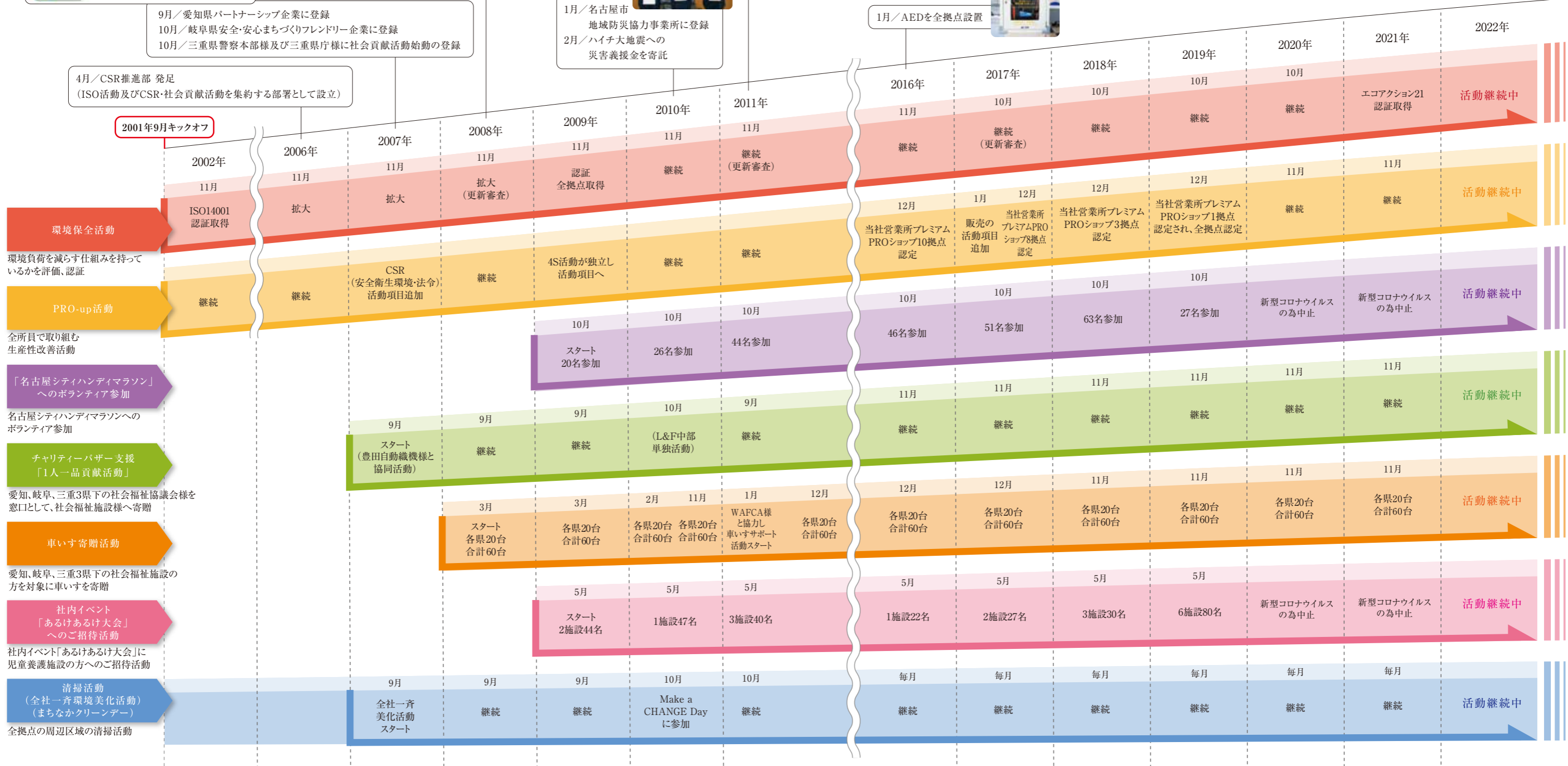
1月/当社創立50周年記念として「50周年記念チャリティー募金」を実施し、児童養護施設のお子様たちへの支援を目的として義援金を寄託
<愛知県内26施設へ陶面づくり教室及び物品寄贈活動を実施>
3月/東日本大震災への災害義援金を寄託



2014年より献血活動を実施

4月/CSR推進部 発足
(ISO活動及びCSR・社会貢献活動を集約する部署として設立)

2001年9月キックオフ



「名古屋シティハンディマラソン」へのボランティア参加



チャリティーバザー支援「1人一品貢献活動」



車いす寄贈活動



社内イベント「あるけあるけ大会」へのご招待活動



清掃活動(まちなかクリーンデー)

わたしたちは、 プレミアムPROショップの 認定を受けました。

所員全員が参画し、
それぞれの担当する場所について責任を持ち、
改善に取り組みました。この取り組みを習慣化し、
今後も継続してまいります。



会社概要

トヨタL&F中部株式会社

商号 トヨタL&F中部株式会社

本社 名古屋市昭和区高辻町6-8

代表者名 長谷 武

設立 1960年8月15日

決算期 3月

資本金 4,000万円

事業内容 トヨタの産業車両(フォークリフト・ショベル・トローイング等)
物流システム、周辺・環境機器の販売とメンテナンス
産業車両のレンタル・リース、保険業務

ATgroup 株式会社ATグループ

トヨタL&F中部は(株)ATグループの一員です。

愛知トヨタ自動車(株)	トヨタカラー愛豊(株)	ネットトヨタ愛知(株)	ネットトヨタ東海(株)
愛知スキ販売(株)	(株)トヨタレンタリース愛知	トヨタホーム愛知(株)	(株)アトロ
愛知クレジットサービス(株)	トヨタ情報システム愛知(株)	(株)ATビジネス	

愛知県

- 高辻営業所 名古屋市昭和区白金3-7-12
TEL(052)882-6419/FAX(052)871-9453
- 名港営業所 海部郡飛鳥村木場2-105
TEL(0567)55-0722/FAX(0567)55-0721
- 東海営業所 東海市名和町後西72
TEL(052)604-1821/FAX(052)604-8801
- 知多営業所 常滑市松原字勇田51-7
TEL(0569)34-4800/FAX(0569)34-4979
- 尾張旭営業所 尾張旭市向町2-5-15
TEL(0561)54-4711/FAX(0561)54-4715
- 小牧営業所 小牧市大字横内14-1
TEL(0568)77-5365/FAX(0568)77-2514
- 北名古屋営業所 北名古屋市の腰天神東100
TEL(0568)23-9211/FAX(0568)23-9216
- 豊田営業所 豊田市鴻ノ巣町1-1-3
TEL(0565)28-3512/FAX(0565)29-9338
- 三好営業所 みよし市筋生町上永井田3-1
TEL(0561)33-5731/FAX(0561)33-5737
- 刈谷営業所 刈谷市幸町2-2-8
TEL(0566)21-6107/FAX(0566)24-6617
- 西尾営業所 西尾市新渡場町大西22-4
TEL(0563)54-3181/FAX(0563)54-1751
- 岡崎営業所 岡崎市大平町字櫻田27
TEL(0564)-64-0010/FAX(0564)-64-0021
- 豊橋営業所 豊橋市神野新田町字ヨノ割39-3
TEL(0532)33-2321/FAX(0532)33-2323
- 物流システム部 名古屋営業所 名古屋市昭和区白金3-7-12
TEL052-882-6413/FAX(052)882-6731
- 物流システム部 三河営業所 岡崎市大平町字櫻田27
TEL(0564)-64-0077/FAX(0564)-64-0066
- 中古車部 海部郡飛鳥村大字梅之郷字東梅26-26
TEL(0567)55-3355/FAX(0567)55-3988
- PBエコセンター 半田市州の崎町2-172
TEL(0569)20-2250/FAX(0569)29-3860
- バッテリーサービスセンター(商品技術部) 小牧市大字岡々原新田字上芳池198-3
TEL(0568)68-8841/FAX(0568)68-8843
- 小牧リフォークセンター 小牧市大字横内14-1
TEL(0568)77-5365/FAX(0568)77-2514
- 三好リフォークセンター みよし市筋生町上永井田3-1
TEL(0561)33-5731/FAX(0561)33-5737
- 西尾リフォークセンター 西尾市新渡場町大西22-4
TEL(0563)54-6721/FAX(0563)54-1751
- 豊橋リフォークセンター 豊橋市神野新田町字ヨノ割39-3
TEL(0532)33-2321/FAX(0532)33-2323

岐阜県

- 岐阜営業所 岐阜市藪田東1-6-3
TEL(058)272-7161/FAX(058)272-7166
- 大垣営業所 大垣市内原1-156
TEL(0584)89-8051/FAX(0584)89-8303
- 多治見営業所 多治見市白山町4-31
TEL(0572)22-7288/FAX(0572)23-1736
- 恵那営業所 恵那市大井町字雀子ヶ根2087-491
TEL(0573)25-1602/FAX(0573)25-1603
- 美濃加茂営業所 美濃加茂市加茂野町加茂野字東野35-1
TEL(0574)28-2001/FAX(0574)28-1871
- 高山営業所 高山市下切町1157
TEL(0577)33-4020/FAX(0577)33-6542
- 美濃加茂リフォークセンター 美濃加茂市加茂野町加茂野字東野35-1
TEL(0574)28-2001/FAX(0574)28-1871

三重県

- 四日市営業所 四日市市富士町3-4
TEL(059)331-4481/FAX(059)331-4964
- 亀山営業所 亀山市田村町字若宮1131
TEL(0595)83-1861/FAX(0595)83-1867
- 松阪営業所 松阪市大口町字西115
TEL(0598)51-0824/FAX(0598)51-0168
- 尾鷲営業所 尾鷲市小川東町31-20
TEL(0597)23-1757/FAX(0597)23-1758
- 伊賀営業所 伊賀市柏野601
TEL(0595)45-3611/FAX(0595)45-3613
- 四日市リフォークセンター 四日市市富士町3-4
TEL(059)334-1261/FAX(059)331-4964

本社

名古屋市昭和区高辻町6-8
TEL(052)882-6411/FAX(052)883-0124
お客様相談フリーダイヤル:0120-49-7835

白金オフィス

名古屋市昭和区白金3-7-12

海外

トヨタツウショウフォークリフトタイランド
豊田通商株式会社と合併で、タイにフォークリフト専門販売会社を設立しています。